

かが

議会だより No.154

特集（令和3年度決算）	…… P 2	議決結果	…………… P 8
9月定例会	…………… P 4	議会のうごき・研修報告	…… P 9
議案質疑	…………… P 5	一般質問	…………… P 10
委員会質疑	…………… P 6	あとがき	…………… P 20

表紙企画：1枚の写真を表・裏で使っています。見開きでお楽しみください。

令和3年度 決算

一般会計 特別会計 事業会計認定

8億円の黒字決算

令和3年度決算 注目目玉事業

町の予算がきちんと執行されたか、決算特別委員会で慎重審議し、すべての会計決算を認定しました。その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。

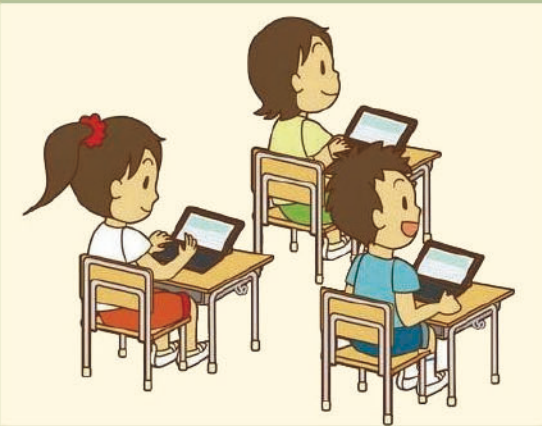
新型コロナウイルス対策

(主な事業) 給食費の減免：1億1971万6千円
こども医療費支給対象の拡大：972万8千円



デジタル化の推進

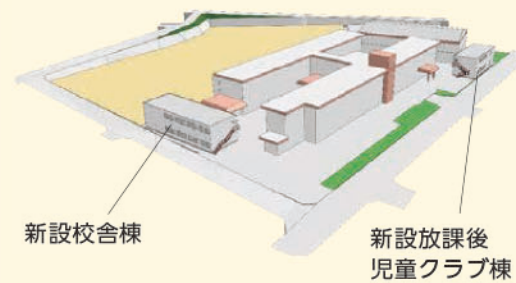
(主な事業) 学校ICT教育推進事業：2894万円
議会ICT環境整備事業：200万1千円



子育て施策の充実

(主な事業)
与原小学校増築事業：1億5076万7千円

与原小学校全体イメージ



安心・安全なまちづくり

(主な事業) 空き家対策事業：451万1千円
高規格救急車更新事業：3916万円



令和3年度 一般会計決算について

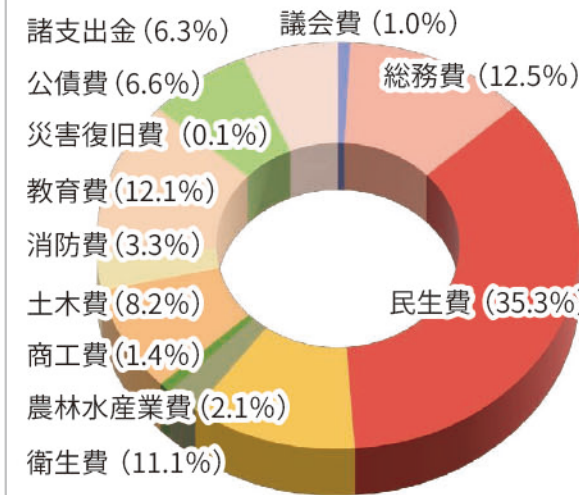
歳入は、昨年度に比べ11・2%減の169億5537万円、歳出は、昨年度に比べ12・3%減の160億6483万円、歳入と歳出の差引額は8億954万4千円となり、黒字となりました。

本年度の実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は9千855万7千円の黒字となりました。積立金等を加えた実質単年度収支は、1億1千741万1千円の赤字となりました。

決算委員会の審議の内容は、7ページをご覧ください。

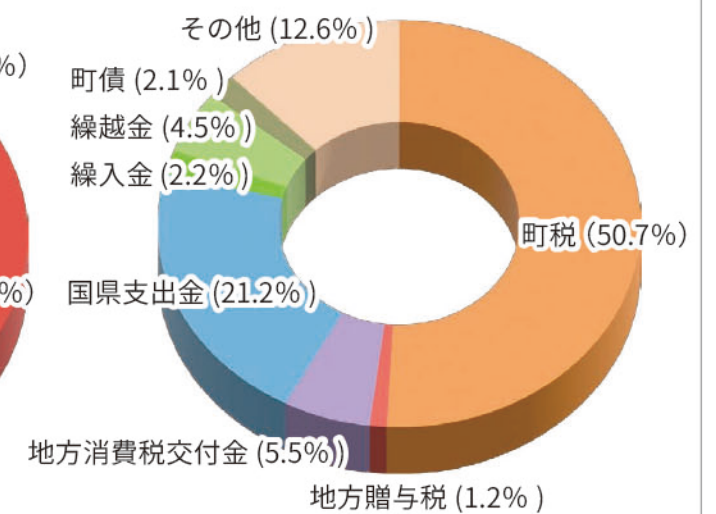
歳出

歳出合計 160億6483万円



歳入

歳入合計 169億5537万円



歳入① 169億5537万円
 歳出② 160億6483万円
 差引 ①-② 8億9054万円

健全財政を維持しています

・財政力指数：1.241 ・経常収支比率：85.0%

財政力指数とは…財政運営の自主性の大きさを表す指数
経常収支比率とは…財政の弾力性を表す指標

一般会計補正予算等30件、意見書1件を審議

8月30日
～
9月27日

補正予算

一般会計補正予算（第6号）は、2億752万3千円を追加し、補正後の総額は148億8千161万2千円。一般会計補正予算（第7号）は、8億9千350万円を追加し、補正後の総額は157億

7千511万2千円。正。

条例制定

●山口ダム管理条例
土地改良区の解散に伴い、新たに条例を制定。

条例改正

●荻田町職員の育児休業等に関する条例
業等に関する条例
法改正による所要の改

●荻田町農業振興審議会条例
審議会の構成員である組織の名称変更及び解散に伴う所要の改正。

●荻田町消防団員の定員、任用、給与、分限懲戒、服務等に関する条例
国の定めた非常勤消防

*令和4年度補正予算（歳出で補正した主なもの）

【一般会計（第6号）】 ・水道基本料金減免事業負担金	1億8752.3万円
【水道事業会計（第1号）】 ・システム改修委託料	52.3万円
【一般会計（第7号）】 ・ワンストップサービス関連 デジタルツール導入 ・観光パンフレット等作成及び 観光地案内看板制作設置 ・カーボンニュートラル立地 促進奨励金 ・企業立地促進奨励金	318.3万円 536.3万円 1億5000.0万円 401.8万円
【国民健康保険特別会計（第2号）】	▲1019.8万円
【後期高齢者医療保険特別会計（第1号）】	15.8万円
【介護保険特別会計（第1号）】	3901.8万円
【土地区画整理事業特別会計（第1号）】	▲705.8万円
【下水道事業会計（第1号）】	▲515.4万円
【水道事業会計（第2号）】	374.6万円

団員の報酬の基準に基づき、消防団員の報酬等を改正。

その他の議案

●工事請負契約の締結について（荻田小学校放課後児童クラブ増築工事）
仮契約である荻田小学校放課後児童クラブ増築工事の契約（工事請負人東海リース株式会社福岡支店）。

●行橋市及び荻田町におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約の締結に関する協議について
荻田町及び行橋市におけるはしご付消防自動車の共同運用に係る連携協約の締結に関する行橋市との協議。



●町道路線の認定について
都市計画法第40条の帰属に伴う道路を、町道として認定。

●町道路線の変更について
南原・殿川線の施工に伴い、接続する町道南原・浮殿下1号線の終点を変更。

●専決処分について（令和4年度荻田町一般会計補正予算（第5号））
新型コロナウイルス感染症

染症に対応する医療機関や福祉サービス事業所等を支援。

人事案件

●農業委員会委員の任命について
欠員補充のため、緒方智保氏を新たに委員として任命。

追加議案

●一般会計補正予算（第8号）
価格高騰緊急支援給付金として、住民税非課税相当の世帯、一世帯あたり5万円を給付。

意見書

●女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

議案質疑

工事請負契約の締結について

Q 荻田小学校放課後児童クラブ増築工事の入札では、参加業者が13社選ばれているが、その選定基準と不調となった理由は。
A 今回の工事にかかる金額が大きいため、建設業法に基づいて選任の技術者を配置する必要があったことから、京築・北九州地域の業者を選定し、入札を行った。13社のうち3社が予定価格範囲内の施工が難しいとのことであり、その他9社については選任の技術者を配置することにより町に辞退届が

提出された。

Q このような状況で行われた入札は、健全といえるのか。また、1社のみが落札した形では最低価格といえないと思うが。今後、増額の可能性はあるのか。
A 1億円未満の入札については、指名競争入札となっている。業者の選定については、資格審査を終えて本町の指名簿に記載している業者の実績等を考慮している。要望 税金を納めている町内業者を優遇し、Aランクの建設業者が育つ政策を考えていただきたい。

一般会計補正予算

Q 高速道路対策費については。
A 緑越金が1億2千4百万円もあるのに、270万円をなぜ借りるのか。
A 空港整備事業にかかる負担金であり、

Q 秋頃を用途に高速道路の「4車線化」が予定されている。環境の変化を踏まえ、騒音の測定調査をする。
A 農業経営収入、保険料補助金2分の1補助の内容は。
A 経営努力で避けられない収入減少が補償の対象となっている。自然震災、病害虫等である。

Q 水路改良工事の内容は。
A 稲光や片島地区のため池工事が一ヶ所。あとは水路整備工事や農道工事、井堰工事である。
Q 繰越金が1億2千4百万円もあるのに、270万円をなぜ借りるのか。
A 空港整備事業にかかる負担金であり、

Q その起債について、償還期間など、どのように想定しているのか。
A 起債を起すときは、県を通して協議する。起債の年数に

Q 公共工事に関して、国・県から起債を行うよう指導があったのか。財政運営について、どのような考えか。
A 町の建設事業については、その耐用年数に応じて起債を起し、負担の平等化

今後、長くこの空港を使っていくことから、費用の平準化を図っていく。
Q 今回、この金額を計上しなくていいのでは。
A あくまで予算上ということで、今回計上した。

Q 最終的には起債を起すか分らないというところか。違和感を感じるが。
A 今回、空港整備の負担金330万4千円を歳出予算に計上しており、その9割の270万円を歳入として計上する。

Q 公共工事に関して、国・県から起債を行うよう指導があったのか。財政運営について、どのような考えか。
A 町の建設事業については、その耐用年数に応じて起債を起し、負担の平等化

を図るのが予算編成の哲学。

エコプラントについて

Q 決算を見ると、このままでは経営が行き詰まると思うが。
A 次の処理方法を決めるまで、維持補修をしながら運営していきたい。



荻田エコプラント

委員会質疑

総務

常任委員会

- 一般会計補正予算(第7号)
- 【総務費】
- Q 電子計算機ソフトウェアサービス使用料、システム導入などのようになるのかまた、いつから使うのか。
- A 令和5年2月より、マイナンバーカード利用による転入転出手続きのワンストップサービス化。
- 刈田町消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- Q どのように変わったのか。

A 団員の年額報酬、出勤報酬等の引き上げ。

● 行橋市及び刈田町におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約の締結に関する協議

- Q 共同運用の開始時期とスケジュールは。
- A 議決後、連携協約締結、協議後に知事届出、令和5年にはしご車入札、操作研修、令和6年3月から運用予定。

産業建設

常任委員会

- 一般会計補正予算(第6号)
- Q 物価高騰対策で、なぜ水道料金の減免を行ったのか。
- A 国が明示する施策等の中で、速やかに対応できるものであったため。

● 一般会計補正予算(第7号)

【農林水産業費】

- Q 水路改良工事は地元要望のものか。
- A ほぼ地元要望のもの。老朽化等の対応分である。
- 【商工費】
- Q 企業立地促進奨励金の内容は。
- A 自動車関連産業が新松山に事業所を増設したことに伴い、投下固定資産総額から算定される税額に基づいた交付額の支払いを行う。
- 【土木費】
- Q 県海岸協会負担金の内容と全国海岸協会負担金との関係は。
- A 別個のものであり、内容は、今年度当初予算編成後の年度末に確定した工事費にかかる負担金である。

【歳入】

Q 企業立地奨励基金金の残高は。

- A 3億円程度。令和4年度及び5年度支出予定分については対応できる。
- 水道事業会計補正予算(第2号)
- Q 給水パックの常備数と購入の経緯は。
- A 2千袋常備。今回の渇水で、不足すると見込まれたため、1万袋を新たに購入。
- 山口ダム管理条例の制定
- Q 条例の内容は。
- A 刈田町土地改良区の解散に伴い、土地改良法の規定に基づき、山口ダムの管理に関する基本的なところについて定めた。

厚生文教

常任委員会

- 【民生費】
- Q 在宅介護実態調査委託料の内容は。
- A 要支援、要介護認定を受けている65歳以上の在宅生活者に対しアンケートを行う。
- 【衛生費】
- Q 新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料の内容は。
- A 令和4年10月から令和5年3月まで延長されるため、ワクチン接種会場の運営費。
- Q ワクチン接種予約コールセンター業務委託料の内容は。
- A 半年間延長されるため、コールセンターの人件費増加分。
- 【教育費】
- Q 文化財保護費、看板等設置業務委託料の内容は。
- A 平尾台の野焼きの延焼で看板が消失したため、新たに看板を設置。
- 【債務負担行為】
- Q パンジープラン21第9期計画策定業務委託料、なぜ繰り越したのか。
- A 令和5年度に見直し作業を行うため、4年度にはアンケート調査を行うよう当初より2年計画で進めているため。
- 介護保険特別会計補正予算(第1号)
- Q パンジープラン21実態調査の対象は。
- A 要介護認定を受けていない65歳以上5000人を予定。
- Q 前回の回収率は。
- A 対象者は5600人。回収率は71.9%。

決算

特別委員会

- 一般会計
- 【総務費】
- Q ふるさと納税の現状は。
- A 返礼品は17業者162品目、令和3年度の寄付件数は1216件、寄付金額は1640万3千円。
- Q マイナンバーカードの発行状況は。
- A 申請数は2万1196件、発行数は1万7857件。
- 【民生費】
- Q 手話奉仕員育成講座委託料の実績は。
- A 10名が受講し、7名が卒業。
- Q 保育士等就職支援補助金の実績は。
- A 令和2年は19名、令和3年は27名。
- 【衛生費】

Q 行橋、京都メデイカルセンター特別会計分担金の増額理由は。

A 新型コロナウイルスによる受診者の減少とインフルエンザの減少によりメディカルセンターの収入が減少したため。

- Q がん検診委託料の増額理由は。
- A 令和2年度は5471名だった受診者が令和3年度は6347名で増えたため。
- 【農林水産業費】
- Q 水産振興対策事業補助金の内容は。
- A 漁協内製水機を交換。
- 【商工費】
- Q 雇用促進奨励金の実績は。
- A 2社21名分。
- Q 企業立地促進奨励金の実績は。

A 3社分。

【土木費】

Q 社会貢献活動関連工事の内容は。

A 新規で2団体の協力が増え、2ヶ所4枚の看板を設置した。

Q 城南団地の入居状況は。

A 400戸中242戸が入居。

【消防費】

Q 消防本部事務所棟のリース契約はいつまでか。

A 2014年4月から2024年3月まで。

Q その後はどうなるのか。

A 無償で譲渡される。

Q 電気自動車を災害時のバッテリーとする案があったが、今後の動きは。

A 日産自動車九州と提携している。公用車も今後増やす予定。

【教育費】

Q すみれ教室の状況は。

A 令和3年度は正式入室1名、仮入室6名の計7名。

Q 奨学金の減額理由は。

A 貸付希望者の減少。

【要望】

Q 借りやすいように制度の見直しを行うってほしい。

Q 図書購入の方針は。

A 年間計画を作り、司書等と相談しながら購入している。リクエストも受け付けている。

【歳入】

Q 繰越金が多い。要因は。

A 町税が当初の見込みより増加し、医療費等余裕を持たせていた歳出の不用額が多く出たため。

● 国民健康保険特別会計

Q 滞納の理由は。

A コロナ禍などが要因。

Q 今後の取り組みは。

A 様々な取り組みにより、収納率は93.2%が上がっている。

● 住宅新築資金等特別会計

Q 処理にはどのくらいの期間が必要か。

A 10年程度。

● 京都郡公平委員会特別会計

Q 滞納の理由は。

A 本町が事務局なので、町職員が対応。

Q 事務局は交代制か。

A 固定である。

● 水道事業会計

Q 水源対策について予算はあるのか。

A 京築水道企業団への出資金等を措置している。現在は北九州との連携を進めている。



子宮がん検診車

議会のうごき

7月	6日	議会広報特別委員会（議会報第153号企画編集について）
	11日	議会広報特別委員会（議会報第153号企画編集について）
	12日	京都郡町議会議員研修会
	20日	産業建設常任委員会（議会報告会、視察研修について）
8月	4日	緊急対策特別委員会（専決処分について）
	18日	常任・議会運営委員長・副委員長研修会
	19日	議会運営委員会（9月定例会について）
	23日	全員協議会（令和4年第4回定例会提出予定議案について） 総務常任委員会
	26日	議会運営委員会（令和4年第4回定例会について）
	30日	令和4年第4回定例会（開会） 付託委員会（産建・厚文） 決算特別委員会 議会広報特別委員会（議会報第154号企画編集について）
	9月	1日
8日		一般質問
9日		一般質問
13日		一般質問
14日		付託委員会（総務・産建・厚文）
15日～16日		決算特別委員会
27日		全員協議会（令和4年第4回定例会追加提出予定議案について） 議会運営委員会（令和4年第4回議会定例会追加議案について） 令和4年第4回定例会（閉会） 付託委員会（総務） 議会広報特別委員会（議会報第154号企画編集について）

議会掲示板

12月定例会の予定

*会期は11月29日(火)から12月16日(金)まで
*一般質問は12月8日(木)・9日(金)・13日(火)
*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継アクセス件数

9月末時点アクセス件数
(令和4年4月からの累計)

ライブ中継 **409**件
録画中継 **999**件

研修報告

京都郡町議会議長会主催の研修会

常任・議会運営委員長・副委員長研修会

8月18日、福岡県自治会館にて福岡県町村議会議長会主催で「委員会の進め方と地方議会をめぐる諸問題について」をテーマにした研修会が行われた。

7月12日、第七管区海上保安本部北九州航空基地にて京都郡町議会議長会主催の研修会があり、議会より14名が参加した。夜間、遠距離であっても九州北部周辺海域の迅速かつ広範囲な捜索救助と警戒監視が可能であるなどの説明を受け、機体見学を行った。



令和4年第4回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	末石	花見	村上	屏	岩谷	尾形	白石	友田	榎谷	小山	井上	武内	梶原	松原	沖永	坂本	結果	
議案第49号	令和4年度苅田町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第50号	令和4年度苅田町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第51号	工事請負契約の締結について（苅田小学校放課後児童クラブ増築工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第52号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第53号	令和4年度苅田町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第54号	令和4年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第55号	令和4年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第56号	令和4年度苅田町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第57号	令和4年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第58号	令和4年度苅田町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第59号	令和4年度苅田町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第60号	令和3年度決算の認定について（苅田町一般会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第61号	令和3年度決算の認定について（苅田町国民健康保険特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第62号	令和3年度決算の認定について（苅田町後期高齢者医療特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第63号	令和3年度決算の認定について（苅田町介護保険特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第64号	令和3年度決算の認定について（苅田町土地区画整理事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第65号	令和3年度決算の認定について（苅田町住宅新築資金等特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第66号	令和3年度決算の認定について（苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第67号	令和3年度決算の認定について（京都郡公平委員会特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第68号	令和3年度決算の認定について（苅田町下水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第69号	令和3年度決算の認定について（苅田町水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第70号	苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第71号	苅田町農業振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第72号	山口ダム管理条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第73号	苅田町消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第74号	行橋市及び苅田町におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第75号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第76号	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第77号	専決処分について（令和4年度苅田町一般会計補正予算（第5号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第78号	令和4年度苅田町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書案第3号	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○-賛成、×-反対 欠-欠席 除-除斥 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。
※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

Q 各種健康診査の受診率向上の工夫は

A 広報紙、LINEを3回増やした



白石 学 (公明党)



Q 9月は健康増進普及月間だ。町独自の後期高齢者健康診査、実績が大幅にアップしている。理由は。

A 自己負担が無料。貧血・心電図検査等健診項目が他市町より多いから。

Q 令和3年度から表記が人数から%に変わった理由は。

A コンサルより、人数が減っていくので、%表記がより中身がはっきりするとの事に変更した。

Q これは公表している。町民に分かり易いように、活動は人数、結果は%表記の工夫がいいのでは。

A 公表の仕方、町民の方がより見やすい方法があれば再度検討する。

Q 肝炎検査が、平成31年度より40歳から74歳まで対象の特定健康診査になったが。

A よりきめ細かな検査をし、健康維持増進に努めるため、項目が増えた。

Q 国・県からの指導が。

A そうではない。将来的に医療費の削減に努めるため、項目を増やした。

Q 糖尿病は重症化する人工透析になる。本人も大変だが、国保財政の悪化にもなる。予防対策は。

A 早期発見・早期治療のため、国保の若年検診をしている。早くから健康管理に努めてもらいたい。

Q まちづくり報告書

の成果指標が、平成31年度から、「事故を除く死亡者数」に変更になったが。

A 第五次総合計画で、全体的に大幅な見直しを行ったため。

Q 健康づくりの推進の「余地」欄に「減らすことができます」とある。「できます」はコンサルの文章だ。町の本気度が感じられないが。

A 来年度以降、町の主体性をもっと出せる形の表記に改める。

Q 9月の健康増進普及月間の市町村の取り組みが厚生労働省の資料にある。行橋市・豊前市は数項目にわたり掲載がある。本町は1項目のみだが。

A 本町も他市町と遜色なく、健康増進教室や健康相談等全て行っている。

Q 本町は健診の受診率は高いが、特定保健指導実施率は大変低い。改善の対策は。

A 保健指導を土・日開催している。地域の食生活改善推進員や管理栄養士の活動で寄与していく。

9月1日～30日は健康増進普及月間です

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～健康寿命の延伸～

生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙についての理解を深め、健康づくりを実践しましょう。

+10分の運動

毎日身体を動かすことで、生活習慣病のリスクを下げることができます。いつものエレベーターを階段に！移動を早歩きに！小さな積み重ねで無理なく+10分を目指しましょう。

メタボリックシンドローム (メタボ)

メタボリックシンドロームとは、好ましくない生活習慣が原因で、内臓脂肪が蓄積し、心・血管系の疾患に罹患するリスクが高まります。この機会に日々の生活習慣を見直し、メタボリックシンドロームを予防しましょう！

+1皿の食事/-2gの減塩

【+1皿の食事】大人が1日に必要な野菜の摂取量は350gです。毎日の食事に+1皿を！
【-2gの減塩】目標は現在の摂取量から-2g。だしや香辛料を上手に使っておいしく減塩！栄養表示を見てかきこく-2g減塩を目指しましょう！

たばこの煙 ゼロ

たばこの煙には多くの有害物質が含まれており、喫煙だけでなく受動喫煙も身体に影響があります。喫煙は健康を損なうだけでなく、肌の美しさや若々しさを失うことにもつながります。社会全体で受動喫煙のない健康社会を目指しましょう。

●問い合わせ先/子育て・健康課 健康サポート担当 ☎093・588・1235

Q 快適な労働環境が町民サービスの向上につながる

A 柔軟に対応していく



岩谷 潔 (飛翔の会)



Q 本町の働き方改革の取組は。

A 毎週水曜日の『ノー残業デー』や超過勤務の上限を定めている。

Q 職員の健康管理やストレスチェックは。

A 年一度。健康指導等が必要な時は希望制で保健師の指導を受けられる。

Q 労働環境に対しての訴えは。

A 配置換えの希望やトイレの洋式化等。福祉課が業務改善

で行っていることは。

A 主な業務である窓口相談に時間をかけるために、事務手続きの省略化など職員が工夫している。

Q 年次有給休暇や特別休暇の取得率は課によって差はあるのか。

A 大きな差はない。休暇を取得しやすい状態か。

A 各課長が業務を工夫し、取得しやすい状態である。

Q 男性の育児休暇の

取得は。

A 2件。

Q 今後の職場環境改善の課題は。

A 人手不足による長時間労働。65歳以上の方の継続的な雇用が必要と考える。

農業振興

Q 肥料・燃料の高騰、米価の下落に対して担当課の考えは。

A 農家に大きな影響を及ぼしていることは認識している。国・

県が補助事業の準備をしている。

Q 農業者の条件は。

A 化学肥料の2割低減を実現すること。

Q 町内の農家を守るためには消費を増やすのが良いのでは。地産地消の状況は。

A 町内産が2割。農家を支援するた

めの町の方策は。

A 来年度の予算に支援策を計上できればと思っています。

Q 農業者に対して実態調査をしてみても。

A 声を聞きながら農業振興の策を練っていきたい。

Q 農業公社廃止に伴う問題は。

A 土地の引き取り手を探すこと、資金の一部を町に返還できないこと。

Q 土地の引き取り手がないと遊休農地になり、農業政策として後退するのは。新たな耕作放棄地対策を検討する。



燃料の高騰等に追い打ちをかけ、台風で倒壊した稲

Q 渇水対策としての山口ダムの活用は

A 北九州からの受水を優先に考えている



松蔭日出美 (無党派)



Q 農業用水の確保について。

A 農業用水の確保については、県営一般かんがい排水事業として、昭和45年に山口ダム建設の事業認

可を得て、平成8年に竣工し、現在に至っている。

Q 山口ダムにある浅瀬について何か対策は。

A 山口ダムを見に行



白川地区

き、砂地の浅瀬を確認した。浅瀬が出た段階でも60数%の貯水量があり、現時点で特に何もする必要はないと思っている。

Q 水源対策として、より多くの水を確保するために、山口ダムの拡張をしてみようか。

A 農業をするうえで、水は充足しており、現段階において水の確保はできていると認識している。

Q 過去に山口ダムの

拡張の話があったが。平成14年頃だったと思うが、計画していたようだ。

論にならなかったようだ。Q どうして断念したのか。

A 予算の確保が難しいことや上水への利用ができないこともあり断念したようだ。

Q 山口ダムの活用は考えていないのか。

上水や農業用水への影響ができた場合は、そういったことも考えられる。Q 深刻な水不足となった時の対応は。

A 水の確保について様々な方向で検討している。現時点では、渇水対策として北九州からの受水を最優先に考えている。



山口ダム

Q 本町の都市計画について

A まちづくりに大きな貢献



坂本東二郎 (高志会)



Q 本町の都市計画が施行されて今年で52年目であるが、中間総括的な取り組みは何かしたのか。

A 中間総括的なことはしていない。大切なところは残し、時代によって見直すことがあってもよいと思う。

Q 都市計画の中で一番大きな特徴は何か。

A 土地区画整理事業だと思っている。Q 本町の規模で市街化区域の半分以上が

区画整理によって、

整然とした市街地を形成している珍しい町であると思うが。

A 町は大きく発展したが、当初計画より遅れたり道路整備も進んでいない点もある。

Q 町づくりの中で歴代町長が苦渋の決断をしながら進めてきたわけであるが。

A 与原区画整理が単独施行が正しい選択だったかは歴史が判断すると思う。

Q 白川地域に準都市計画を施行したが町長はご存じか。

A 都市計画区域外に準都市計画を指定した。

Q 指定して15年になるが生活基盤整備など何かがやけた実績はあるのか。

A 都市計画事業として何かをしたということはないと思う。Q 行政と住民お互いが契約関係であり、住民を縛れば反対に

サービスをすると思うが住民の意識調査はしたのか。A していない。Q 情報を持っている行政側と何の情報もない住民側との落差は大きい。都市計画区域外だからしなくともよいとは思えないと思うが。

A 都市計画内外を問わず住民サービスは必要なものは実施しなければならない。

Q 準都市計画を制定した行政側の責任だから、しっかりと整備してほしいが。

A 片島と白川南部は終わったが、白川北部が残っている。水洗化を当然しなければいけないサービスと思っている。Q 仮に700世帯が個別に浄化槽を設置

しモーターを回せばエネルギー消費量はSDGsに全然反することになると思うが。

水洗化でも、きれいな水が排水され、SDGsの理念は間違っていない。提言 同じ町民、同じ納税者として公平平等に扱っていただきたい。



白川地区

Q 今後の渇水対策は

A 北九州市から供給を検討中



尾形 均（無党派）



Q 地球温暖化により異常気象が続くそう
だ。持続可能な町づくりに
は渇水対策が欠かせない。

A 抜本的な上水確保対策が求められる。

Q 具体的対策が映ってこないが。

A 水源確保は大事だが安価で安定的供給が必要。広域での対策として北九州市から供給を検討中。

Q よその水源は不安定。自前で賄える体制を整えるべき。

A 現時点で油木ダム、伊良原ダム、耶馬溪ダムが水源なので隣町からの供給に違和感はない。

Q これらのダムは水利権があるが隣町からの購入は不安定。従って町内の水がめ整備を考えては。

A 過去の水源プロジェクトで葉山池、深田池等を検討したが流入量が少ないので貯水がなくなり実現しなかった。

Q 町内ダム、池の用途、用量制限は。

A 農業、工業用で制限がある。井の口池は水道専用。

Q 現存するダム、池、これらを整備して貯水量を増やす考えは。

A それぞれ水利権により用量制限がある。又整備しても流入量が不足する。

Q 農業用水より飲料水。大渇水の場合どう確保するか。

A 今川、井の口池が最も安価。北九州からはコストがかかる

が、現有ポケットの整備より安定的で安価な水になる。
Q 渇水は何年かおきにくる。その間隔は段々縮まっている。費用はかかるが人間の命の問題。
A 入れ物を造っても水が溜まらない。やはり北九州から供給してもらうのが一番と考える。

提言 水は生物にとって必要不可欠からざる物。費用がかかっても自前で賄うべきだ。

都市計画体系

Q 都市施設のうち道路は最も重要な施設。都市計画道路は何ヶ所か。

A 現在26路線。
Q 最も古いもの、最

Q 男性トイレのサニタリーボックス設置を

A 必要性について検討する



小山 信美（公明党）



Q 庁舎内男性個室トイレの設置状況は。

A 多目的トイレと2階個室の2カ所。必要があれば拡大する。

Q 多数あれば1カ所は設置してほしいが。

A 住民の利用状況を見て考える。

Q 大熊公園の個室にサニタリーボックスが設置されている理由は。

A 委託業者が、ごみの放置対策として設置している。

Q 庁舎内の男女共用

トイレ2カ所についての対応は。

A 即急に対応する。

Q 古賀市は、誰もが生きやすい地域社会づくりの一環で設置。本町の対応は。

A 市長の理念を聞き本町も取り組みたい。

Q 糸島市はボックスの設置とドアに表示を整備。市民より少数者の意見が反映されてうれしい、ジェンダーの取り組みが広がることを願うとの声。トランスジェ

ンダーの取り組みは。

A 必要性に応じ、全庁的に広げていく。

Q 利用者の多い図書館や体育館の考えは。

A 庁舎内の状況を見て拡大していく。

豪雨対策

Q 個別避難計画の策定状況は。

A 努力義務となったので、危機管理室と福祉課が連携して計画作成に努める。

Q 尾倉の道路冠水に

ついては。

A 計画雨量では、あふれる結果に。日豊線の下がネックで別ルートを検討が必要。

Q 二岐地区の河川の氾濫については。

A 水路があふれる結果となっているが、根本解決には時間がかかる。

Q 山形市は、排水ポンプ車で対策しているが、本町の見解は。

A 来年度、雨水対策の部署を設け、町全体の優先順位や方法を検討したい。

Q 小・中体育館の空調設備の導入は。

A 今はスポットクーラーや大型扇風機の活用を考えている。

Q 計画的な設置は。

A 具体的に可能かどうか検討したい。



井ノ口池

も新しいものは。
A 昭和31年の6路線、平成16年駅東西線が最直近。
Q このうち完成済、一部完成、未完成の路線は。
A それぞれ11路線、11路線、4路線。
Q それぞれ計画路線

につき変更はあるのか。
A 県の見直し方針に従って作業を進めている。
提言 都市計画進路に線引きされながら建物が完成。これら線引きは見直しなり廃止すべきだ。



男性用トイレに設置されたサニタリーボックス

Q ゴミ処理場の これからの方向は

A まだ決定していない



梶原 弘子 (無党派)



Q ゴミ処理場老朽化に対して建て替え計画は。

A ゴミ処理方式等、課題が多く、まだ決定していない。

Q 他にゴミ分別の細分化に関する計画はないのか。

A 今、着目しているのはリサイクルできる「紙ゴミ」であるが、収集方法の変更と収集回数が増えてしまうという問題もある。

特別障害者手当制度

Q 受給対象者数は。

A 30名が支給を受けている。

Q 支給要件は「精神又は身体に著しく重度の障害を有する20才以上の人」に対して支給となっているが、所得制限等、他の制限があるように感じるが。

A 国の制度であり、基準は省令等で定められている。
Q もっと支給者を広

げることはできないのか。

A 国の省令等に基づいて行っているので町の裁量で変更はできない。

Q 年4回、月額2万7千3百円支給とあるが、金額が少ないのでは。

A 国の制度であり支給の決定は県が行う。町の裁量で行えるところは無い。

学校給食費無償制度

Q 学校給食費無償制度の導入はできないのか。

A 苅田中学校をはじめ、施設の更新計画もあり、給食費無償化は厳しい。

Q 給食費を無償にするその費用は。

A 年間一億四千万円程、徴収している。

Q 義務教育は無償といわれているが。

A 「コロナ」の時無償にしたが、財政調整基金を切り崩して捻出した。今の段階では厳しい。

部落差別実態調査

Q 本町での調査実態は。

A 県が今年の8月から10月人権侵害についてのアンケート調査を行っている。

住宅新築資金貸付

Q 県議会では、2016年部落差別解消推進法の議論で、法務省が特定の地域や一定の人達を調査しないとしたが、本町の調査実態はどのようなものか。

A 県が委嘱した調査員が行う。

Q 新築資金貸付金の返済実態は。

A 収入額は264万円、不納欠損処理金額は359万円、滞納残額は4591万円である。



苅田エコプラント

Q 近隣自治体との連携も 大事だが競合も

A 本町の地の利を
いかしたい



武内幸次郎 (大樹会)



Q 物流・デジタル情報新幹線計画を国では推進している。状況把握は。

A 十分にできていない。

Q 道路局では高速道路を活用し自動走行空間に直結した拠点整備エリアが示されているが。

A 全体的な状況把握はできていないが、京都府城陽市の物流施設計画は確認している。

は民間投資を呼び込んだ物流拠点構想素案を発表した。現状把握は。

A 物流拠点整備地区として、長野・津田地区整備事業は承知している。詳細把握はできていない。

Q 物流新幹線計画に向け小倉東インターチェンジに直結した配送拠点施設の整備が進行中だ。メリットとデメリットは。

A 物流機能低下の回避につながる。デメ

リットは現況では見当たらない。

提言 メリットとして経費削減による生産性の向上や地域経済の活性化、デメリットは自社用地でない中小企業の他所への移動や分散に可能性。

Q 製造業誘致は、雇用創出や税収を見込める。人材確保の支援制度や定住化が課題だ。

A 企業とのヒアリングや学校等で人材不足の話は伺う。

提言 地の利の有益性で企業誘致が図られてきた。競合するには情報提供や支援制度に加え誘致体制だ。

水源確保

Q 上水確保を北九州市・行橋市と本町で広域連携による受水協議中とのことだが、京築企業団との広域連携は。

A 京築企業団からの受水は価格や供給量に課題がある。

Q 京築企業団と価格や供給量への協議はなされてきたのか。

A 価格については協議した記憶はある。供給量については送水管口径容量不足だ。

Q 北九州市からの供給責任水量は。

A 協議中だが決定に

至っていない。

Q 非常時の供給支援であれば最適だが責任水量を負うことになるのでは。

A 2000トンを責任水量として渇水時4000トン程度と水道局としては考えている。

提言 日量1万トンから1万2000トンを供給している。京築と北九州から約日量4000トン受水すると浄水場の稼働

率の低下を招く。

Q 県から山口ダムの貰い受けは上水受水量増が条件だ。協議はなされてきたか。

A 協議はしていない。
Q 企業の町において工水確保は不可欠だ。流入量が期待できる山口ダム拡張を検討すべきでは。

A 企業責任者には、工水確保検討を申し上げている。県の動向を注視したい。



山口ダム

Q 新たな水源開発は

A 北九州市から受水の協議を行っている



井上 修 (飛翔の会)



Q 湯水対策はどのように取り組んでいるのか。

A 対策本部を6月6

日に設置し、町民企業への協力依頼、学校プールの利用停止、町民プールの営

業時間を短縮、10%の減圧給水等。

Q 二崎の県企業局工業用水事業の認可無償が理想だが譲渡してもらえないか。

A 本町が運用しても、工業用水を上水に使うことは厳しいと考える。

Q 将来の水源を考え、二崎の浄水場が近い葉山池や獅師ヶ谷池を調査、研究を行っている。

A ため池については、流入河川等もなく、



総合福祉会館

難しい問題が多い。

今後のパンジープラザについて

Q パンジープラザについて問う。

A 5年後を目途に廃止し、総合福祉会館と機能統合できないか検討を行っている。

Q 閉鎖する理由は。

A かなり老朽化が進んでおり、維持費用がかさんでいくため。

Q パンジープラザを売却し、本町の遊休地がある城南団地への移転は。

A 城南団地の跡地は土砂警戒区域であり、建設には向かない土地である。

Q 城南団地が駄目であれば片島か白川方面に福祉政策で目を向けていただきたい。

Q 本町の今後の福祉は

A 時代に合ったサービスを提供する



友田 敬而 (大樹会)



Q 本町の今後の福祉は。

A 時代に合ったサービスを提供する。

Q 唐突なパンジールの廃止表明。町民への

説明を求める。

A 5年を目途に廃止町民への福祉サービスは継続。福祉の後退は避ける。

Q パンジープラザの

機能を商店街に移すことによりコンパクトシティーを目指すべきだ。

A 移転議論をはじめ、検討したい。後、検討したい。

Q 行革で後退した福祉。黒字の決算を受けて、当初は黒字化したのちに戻すという約束のほう。

A 過去の反省の上に立ち健全財政を保ち福祉サービスを提供。

Q 弱者の協力もとの財政再建である、時代に合った新しい



パンジープラザ

A 本町では、障がいのある人や高齢者などへの配慮を特別なこととせず、誰もが普通に暮らせる社会を実現するという

ノーマライゼーションの概念を基本的な理念として位置づけている。

A 新たに建てる判断はしていない。

JR西工大前駅

Q 今日までの進捗状況は。

A 駅周辺の道路の安全対策を行う方向で主に鉄道事業者と協

議を重ねている。

Q 小波瀬5地区の区長から嘆願書が提出されているので、ぜひ期待にこたえていただきたい。

A 地元地域の声に対し、早期実現に向けてやっていきたい。



JR 小波瀬西工大前駅

3年ぶりの苧田山笠(灯山)

絢爛豪華な10基の岩山が登場!!



議会広報特別委員会

委員長	沖永	義樹
副委員長	友田	敬而
委員	梶原	弘子
委員	小山	信美
委員	榭谷	忠明
委員	屏	正隆
委員	村上	智宣
委員	末石	伸二

あとがき

各地に厳しい傷あとを残した台風。「これまでに経験したことの無い」今後の台風に、備える大切さを痛感。さて、決算議会では平成28年度から、実質単年度収支は黒字でしたが令和3年度は赤字に。要因はコロナ対策として給食費の無償を財政調整基金より行ったこと。新型コロナウイルスもウィズコロナへと変化を遂げる中、国内観光を「おトク」にするため「全国旅行支援」が10月11日からスタート。感染対策をしっかりと取りましょう。

小山 信美